



2020 年度
青山社中
リーダー塾

開催要項

混迷の時代こそ、
新たな道を切り拓くリーダーシップを。

青山社中リーダー塾 設立趣意書

我が国は未曾有の国難にある。

バブル崩壊の後遺症に苦しんだ1990年代は「失われた10年」と呼ばれていたが、それが20年となり、今や、次の10年にも希望が持てない状態である。高い自殺率、少子化高齢化、景気低迷など、「変わらぬ問題」の解決に向けた出口は見えず、迷路の中で右往左往している。目を転じて国際社会では、イスラム諸国や、いわゆる「BRICs」に代表される新興国の台頭が目覚ましい。我が国の相対的な地位の低下は顕著である。

そして、この苦境に追い打ちをかけるように東北地方・関東地方を大震災が襲った。戦後の焼け野原のような光景が東北地方の太平洋沿岸部に広がり、多くの人が犠牲になった。原発などの電力インフラ、物流インフラ等も大きな打撃を受けた。人的・経済的損失は計り知れない。

このような国難の時期にあって、問題の在り処、解決の方向性については様々な識者が自説を示しているが、実行される道筋が見えない。国全体はもちろんのこと、企業・諸団体などの様々な集団において、方針を示して物事を動かす人、すなわちリーダーが見えないのだ。

危機に際して、誰もが「このままではいけない」「自分も組織も変革しなければいけない」と認識しているのに、チャレンジができない。損得を超えた狂気がない。みな、目先の損得だけに追われてしまう。「義を見てせざるは勇なきなり」の国だったはずなのに、多くの人がしり込みしている。自分の頭で考え、自分の美学に生きる恰好良い大人が少ない。

リーダーはポジションではない。物事を変える勇気をもって突き進む人である。そういう人が少ない社会に希望はない。「これをやりたい」「どういう人になりたい」がないところに未来はない。

日本の再興を社是に掲げる青山社中では、こうした現状にかんがみ、①国や社会に思いを馳せつつ、②社会の各所でリスクを取って挑戦する人材、を輩出すべく、リーダー養成塾を設立することとした。「魂に火をつける教育」を重視し、松村塾、札幌農学校などの例を紐解いた結果、以下の五つの特色を有する塾にする所存である。

- ① 若手が若手を教えることで、押しつけにならない、個性の「引き出し」を目指す。
- ② 師と弟が一体となって経験を共有し、車座で議論をする。
- ③ 原則として一人による教育とし、網羅性よりも伝達力を重視する。
- ④ 少人数制により、塾生同士の横のつながり、チームとしての意識を持つようにする。
- ⑤ 知識の受信だけでなく、自らの考えの発信を重視する。

このため、当リーダー塾では、リーダーシップの理論教育だけではなく、偉人の生き様に思いを馳せるための伝記教育、文明や歴史の行方を考えさせる教育などを実施することとしている。座学だけではなく、実際の経験も積んでもらうことを視野に入れている。結果として、青山社中リーダー塾で育成された人材が有する能力のイメージは以下である。

- ① 時代や世界の流れを自分なりに見定める能力
- ② 自分の人生のあり方を見定める能力
- ③ 物事を変革するべく挑戦する能力

最近でこそリーダー不在が顕著だが、歴史的には、我が国は他国も羨むリーダー人材を多数輩出してきた。現在、我が国が世界第三位の経済大国であるのも、世界で愛され、尊敬を受けている国であるのも、先人からの遺産のおかげである。我が国の先達は、幕末・維新期、敗戦後の苦境にあって動じることなく、常にチャレンジ精神を持ってこれらを乗り越えてきた。天然資源(natural resource)に頼ったわけではない。人的資源(human resource)がそれを可能にしたのだ。この国を創ってきたのは、正しく何かを変えるべくチャレンジしてきた人材の歴史である。この流れを断ち切ることなく、次世代に残すため、ここに青山社中リーダー塾を設立する。

平成23年4月

青山社中筆頭代表CEO
青山社中リーダー塾塾頭

朝比奈 一郎

塾頭 朝比奈 一郎

青山社中株式会社筆頭代表・CEO



■ 元経済産業省課長補佐

2010年11月まで約14年間勤務。エネルギー政策、インフラ輸出政策等を担当。

■ 新しい霞ヶ関を創る若手の会（NPO 法人プロジェクトK）初代代表

2003年の同会の創立を主導。初代代表として7年以上にわたり本業の傍ら同会を運営。

■ 東京大学法学部卒業 ハーバード大学行政大学院修了（修士）

一高東大弁論部に所属（1年生時に早稲田大学大隈杯弁論大会で優勝）

■ 役職等

総務省 地域力創造アドバイザー

那須塩原市 / 三條市 / 川崎市 / 沼田市 / 生駒市 / 妙高市 / 軽井沢町 / 越谷市 経済活性化系アドバイザー

内閣府クールジャパン地域プロデューサー

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院客員教授

中央大学大学院（公共政策研究科）客員教授（2012年～2016年）

外務省 世界の中の日本30人委員会委員（2006年）

週刊東洋経済 新世代リーダー50人（2012年）

■ 著書

「やり過ぎる力」（ディスカヴァー・トゥエンティワン／単著）

「霞ヶ関構造改革・プロジェクトK」（東洋経済新報社／共著）

「霞ヶ関維新」（英治出版／共著）

「ハーバード・ケネディスクールでは何をどう教えているか」（英治出版／共著）

■ メディア出演

【テレビ】 報道2001、サンデープロジェクト・フロントライン、ワールドビジネスサテライト、
ニュース23、ウェークアップ！ぷらす、朝まで生テレビ！、news zero、報道ステーション 他

【新聞・雑誌】 朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、毎日新聞、朝日新聞、東京新聞、産経新聞、週刊東洋経済、
日経ビジネス、週刊ダイヤモンド、AERA、プレジデント、文藝春秋、Japan Times 他

【WEB】 JBpress 連載、FNN.jp、他

■ ブログ

青山社中筆頭代表 朝比奈一郎のブログ

<http://blog.livedoor.jp/aoyamashachu/>

開催概要

目的

「国や社会のことを考え、
変革に向けた行動を起こすことができる人材を育成する」

- 日本が停滞する中、独自の視点で様々な挑戦をする人材
- グローバル化する社会の中、日本の立ち位置をしっかりと意識できる人材

期間

2020年5月～2021年3月(座学編/土曜日開催 10:30～12:40)
2021年4月～2025年3月(実践編)

場所

青山社中株式会社 会議室
〒107-0062 東京都港区南青山2-19-3 サザンキャッスルビル2F

受講料

100万円(5年分/初年度50万円×2回払い(5月と10月))[税別]
※内訳…入塾金:20万円、座学編:60万円、
実践編(2年目以降もゲスト講師による合同クラス受講可):20万円(5万円×4年)
※学生には奨学金制度あり(詳細は説明会等でご確認ください)
※支払い時の消費税率を適用

塾生特典

塾生期間(5年間)中の青山社中フォーラムへの無料参加

対象

原則20代・30代の日本在住者
※あくまで原則であり、実際には10代や40代以上の方も参加実績もあり
※日本語で「話す・聞く・読む・書く」ができる者

人数

12名(1クラス)を予定

特色

「魂に火をつける教育」

①現場で実践中の講師による教育

自ら活動中の塾頭が、一人ひとりの個性を引き出す教育(educateの原義)

②一人の講師による教育で伝達力のある講義に

松下村塾の吉田松陰、古代ローマ人の家庭教師などにならない、一人が責任を持って教える教育を意識。網羅性よりも伝達力。合同クラス・青山社中フォーラムでは各界からゲストを招聘。

③リベラルアーツ×ディスカッションで実践力を養う

松下村塾の「相労役」を意識。車座となった議論

④少人数制で横の繋がりを重視

塾生同士の自発的なディスカッションを促し、同志意識を醸成

得られるもの

- ①始動力(自ら変革を起こす力)
- ②大局観(時代の流れや世界の動きを自分なりに見定める能力)
- ③基軸力(自分の人生のあり方を見定める能力)
- ④ネットワーク(顔がわかるコミュニティ)

入塾までの流れ

興味のある方は、以下の催しにお越しください。
(入塾の要件ではありません)

無料説明会

説明会	3月14日(土)	14:00 ~ 15:30
説明会	3月26日(木)	19:30 ~ 21:00
説明会	4月1日(水)	19:30 ~ 21:00
説明会	4月11日(土)	14:00 ~ 15:30

弊社 HP より無料説明会のお申し込みができます。

[場所] 青山社中株式会社 会議室
朝比奈や現役塾生・卒塾生が登壇予定です。

入塾選考への申し込み

弊社 HP より入塾選考のお申し込みができます。

<http://aoyamashachu.com/project/education/leader>

書類締切り 4月19日(日)

願書・1000字程度の志望動機のエッセイ

書類選考

選抜面接

原則 4月23日(木) ~ 27日(月) のいずれか

選考結果連絡 5月1日(金)

受講料振込み 5月15日(金)

初回講義 5月23日(土)



※無料説明会など最新の情報については、弊社 HP、
青山社中リーダー塾 Facebook ページをご確認ください。

1年目／座学編（講義＋ディスカッション）

魂に火をつける教育（10ヶ月）

幅広い知見を身につけ、死生観の基礎を育成する

講義回	講義内容	土曜
1～6	リーダーシップ基礎理論 リーダーシップに関する基本的な概念や考え方を理解し、身に付けるために、ハイフェッツやコッターなどのリーダーシップ論を取り上げつつ、東洋の死生観についても学ぶ	5月23日 5月30日 6月6日
7～20	伝記 <ul style="list-style-type: none"> ● 世界のリーダー（カエサル・孫文・ジョブズ） ● 幕末維新期・戦前戦後の日本のリーダー（坂本龍馬・渋沢栄一・松下幸之助・盛田昭夫） 過去の偉人の生き様をケーススタディとして追体験することで、リーダーのあり方を学ぶ	6月13日 6月20日 6月27日 7月4日 7月11日 7月18日 8月1日
21～30	国家の盛衰史 ～古代ローマ・大英帝国・米国・近代日本～ 長い時間軸で物事を見る目を養うために、また、組織のあり方を考察するために、国家がどのように隆盛を極め、そして衰退していったのか、そのターニングポイントはどこにあったのか等を学ぶ	8月22日 8月29日 9月5日 9月12日 9月26日
31～40	近代西洋の政治・経済思想／東洋思想 現代に生きる我々の考え方が、そもそもどのような思想的系譜を経て確立されていったのかを知るために、近代西洋の政治・経済思想／東洋思想を学ぶ	10月3日 10月10日 10月17日 10月24日 10月31日
41～46	文化・文明論～戦略物品・物資の変遷など～ グローバルな視野、視点から、茶や木綿や石油などの戦略物品・物資がどのように世界を動かしてきたのかを学ぶ	11月7日 11月14日 11月28日

講義回

講義内容

土曜

47・48

日本文化論～剣道について～

グローバル時代における日本人のアイデンティティーとは何か議論する題材として剣道を取り上げる

12月 5日

49～66

行政(政治)改革論

- 新しい霞が関を創る若手の会(プロジェクトK)のこれまで
- 霞が関と永田町の現場
- 組織改革論
- 政権交代と霞が関など

塾頭朝比奈の官僚経験、霞が関改革の経験をモデルケースにしながら政治・行政の現実、組織や人事改革論を学ぶ

12月12日
12月19日
1月 9日
1月16日
1月30日
2月 6日
2月13日
2月20日
2月27日

67～70

主要政策について考える

主要政策をピックアップし、政策が必要な背景・その是非について学ぶ
(昨年はエネルギー政策や通商政策を扱った)

3月 6日
3月13日

※ カリキュラム内容は予定。変更する可能性があります。欠席した場合、希望者には録音データをお貸しいたします

受講生限定の合同クラス

年に3回、政治・行政、ビジネス、歴史・文明論の各分野からゲスト講師を招き、座学編修了塾生を交えて講義とディスカッションを行う。



内閣府副大臣(当時)の越智隆雄氏を囲んで ハーバード大学名誉教授エズラ・ヴォーゲル氏の授業風景

1

政治・行政系

※2019年度(以下同様): 國場幸之助氏/衆議院議員

7月頃予定

2

ビジネス系

※2019年度: 杉江理氏/WHILL株式会社代表取締役代表取締役兼CEO

10月頃予定

3

歴史・文明論系

※2019年度: 麻生川静男氏/リベラルアーツ研究者

2月頃予定

※ ゲストは毎年変わります

2年目から5年目までの実践編では、各塾生が主体的に自分の挑戦のフィールドを決め、活動をします。塾の内外で仲間を募ってプロジェクトを立ち上げる方、既存の活動に参加していく方、個人ベースで進路を切り拓いていく方など様々です。

塾頭によるコンサルティング

運営側では、1年目の座学の中で、各塾生の性格・属性を把握。本人の性格・業務環境や学習事情に応じ、塾頭が活動や進路に関する助言を行います。また、必要に応じてネットワークの紹介等も行います。

塾頭からのコンサルティングについてのメッセージ

塾生面談を重ねて改めて思うことは、当たり前ですが、「一人ひとり、個性も置かれている状況も違う」ということです。

面談では、地位や名声の追求ではない、自らの基軸を見出す思索と、それに基づくアクションを各人の個性に基づいて「引き出している」(educationの原義)だけですが、起業する者、組織内で新たな動きをする者、「複」業的にNPOを立ち上げたりボランティアを始めたりする者、政治に打ってでる者など様々な動きが生まれています。

「新しく始めることは、何かを捨てること」であり、逆に言えば、「悩んで捨てる」ところから「新しい芽が出る」こともあります。状況も様々です。

こちらが学ぶことも多い塾生との面談ですが、日本人が大事にしてきたこうしたアナログな「語り」を、今後とも当塾では大切にしていきたいと思えます。



塾生の実践について（抜粋）

■ キャリアチェンジ

- ・ 県議会議員
- ・ 記者職から政策秘書
- ・ 民間企業から中央省庁
- ・ 民間企業から医学部
- ・ 大手企業からベンチャー企業へ
- ・ 病院から国際NGO
- ・ 塾生が起業したベンチャー

■ 既存環境での挑戦

- ・ 子会社社長就任
- ・ NPO 法人代表就任
- ・ 海外法人への異動
- ・ 海外研修への参加
- ・ 海外マーケット視察（業務外）

■ 起業

- ・ IT企業立ち上げ
- ・ 球団立ち上げ
- ・ ゲストハウス立ち上げ
- ・ 地域活性化NPO法人立ち上げ
- ・ 学校設立準備中
- ・ ヘルスケアベンチャー立ち上げ
- ・ クリエイターエージェンシー立ち上げ

■ 留学

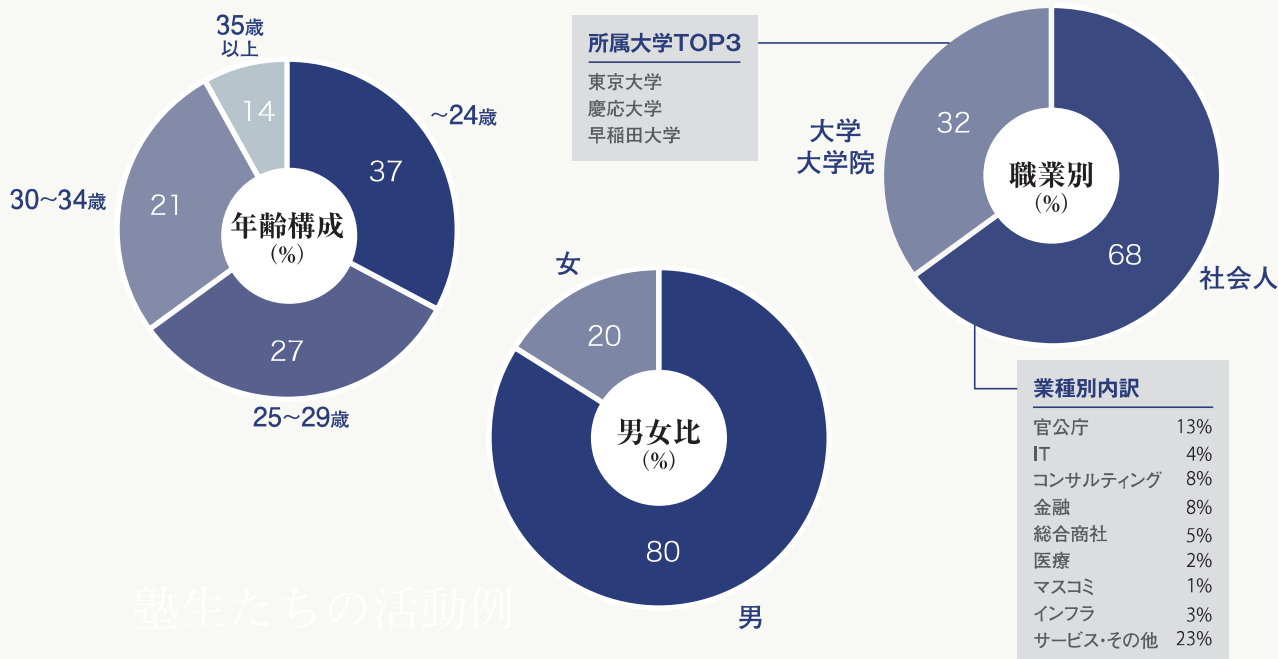
- ・ 経営大学院 (MBA)
- ・ 外交政策大学院
- ・ 公共政策大学院
- ・ デザインスクール
- ・ 公衆衛生大学院

転職 26% 海外留学・赴任 23% 創業 16%(副業含む)

※座学編を終えた1期～7期生までの約120名に対する調査（重複あり）

塾生たちの活動例

塾生プロフィール（入塾時）



日本医療の変革を目指し、IT企業から医学部へ

慶應義塾大学在学中にアイセック・ジャパン専務理事・事務局長を務めた後、大手インターネット企業に入社。中国駐在を経て、医学部受験を決意しました。現在、東海大学医学部に所属し、勉強に勤しむ毎日を送っています。あまり例を見ないキャリアの大転換は、青山社中で大局観を養い、自らや日本のこれからを見つめ直したのが故の決断でした。リーダー塾の講義では普段触れることのない歴史や伝記を扱います。様々な局面で「自分はどうか考えるのか」「自分ならどうするか」を考え抜き、塾頭や塾生と徹底的に議論することで、どの時代にも普遍的なリーダーシップや物事の捉え方を学びました。

そして何よりも、振り返ることなく散らかった経験を、大局観を持って整理・意味付けすることに繋がり、「日本の医療を変える病院を創る」という生きる上での指針を手繰り寄せました。卒業した今でも塾頭や塾生のチャレンジに刺激を受けながらも、「専門性に加え、幅広い視野やマネジメントスキルを有した人材が日本の医療を変える」という確信を胸に日々を邁進しています。

これまでの経験を整理し、新たなチャレンジに繋がりたいという方はぜひ青山社中の門を叩いてみてください！



大学病院勤務
元株式会社ディー・エヌ・エー
高橋 諒

世界に羽ばたく日本企業の成長に寄与するため、キャリアチェンジ

日本の未来のために働きたいという想いを持って、大手システム会社に新卒入社したものの、目先の仕事に忙殺される日々。そんな中で、青山社中リーダー塾に出会い、大きく道が拓けました。長いようで短い学卒編の一年、様々な背景を持つ同志とともに、唯一の解がないテーマを議論し、自分なりの思想を磨いたことは、私の人生において大変重要な意味を持つと感じています。

その後、日本のプレゼンス向上や、社会の発展に貢献したいという想いの高まりと、自分が主役になるより他社のサポートをしたいという志向への気づきがあり、世界に羽ばたく日本企業の成長に寄与するべく、外資コンサルに転職しました。現在は、ITコンサルタントとして、デリバリーと並行しながら、新技術領域でのソリューション開発に従事しています。

まだ小さな一歩ですが、リーダー塾での学びによって、可能性の扉が大きく広がり、そこに飛び込むことに恐れではなく楽しさを感じることができています。



デロイトトーマツコンサルティング合同会社
富樫 さやか

産学官民連携による知の創造と具現化を目指して

現在は大学を中心とした産学官連携の仕組みを政策づくりや実践の場で作ることに携わっています。特に、先端科学技術などを用いた知の創造と具現化をすべくモデルケースの実践をしながら社会への発信をする事で実際の社会への変革を行おうと挑戦しています。

今の高等教育や科学技術、スタートアップの現状は、米中もそうですが日本は特に、皆が暗中模索の段階だと考えていて、(青山社中でも謳っている) 混迷の時代に、知のダイバーシティをどう連携させていくのが重要だと考えています。その連携こそが次の時代を作って行く信じ、産官学民の様々な立場で未来づくりを行なっています。具体的には人工知能系の研究、政策提言、スタートアップの育成から投資、非営利のNPO支援などを行なっています。

外資系金融機関を辞職して直ぐに入ったリーダー塾では、今の日本を中心とした先進国の停滞感と現状、およびその歴史を知る良い機会になり、「(現状認識をきっちりすると言う意味で) 正しく絶望して、諦めない」ことを学ぶことができました。その学びは社会変革ほどスケールできないアイデアで留まりがちな行動を、一段高めるのに重要だと信じています。 <https://kazuyatanaka.com>



研究者 (人工知能 / 大学経営・政策)
田中和哉

学びにパラダイムシフトを起こす

私は、日本で唯一の国際的かつサイエンス特化のハイスクールを2019年に開校させました。

社会の混沌から人類を救う方法は、よい人材が新たな発見を続けていく事だと考え、その為の新しい学びの選択肢、最適な環境を提供する事がミッションです。人生を変える出会いや経験は多くの違った価値観や経歴を持った人たちが集まる場所から生まれます。青山社中はまさにそういう場所です。忙しい毎日の中で、改めて日本や世界のことを考え、それ真剣に変える方法を模索している人達との貴重な邂逅を得ることができます。



株式会社 Manai Enterprise 取締役
(Manai Institute of Science and Technology)
衣川武志

地域の面白さを世界へ発信するために

青山社中リーダー塾に入塾し2つ気持ちの変化がありました。

1つ目は大局的に物事を考えられるようになったことです。地方行政について学んでいた大学院時代、海外志向だった自分の向く先が地方になり、自分の視野がどんどん狭くなっていた時、いつも高い視座で物事を考えるよう引き戻してくれたのはリーダー塾の授業と同期の皆さんでした。授業で問かけられるディスカッションテーマはいつもミクロな質問からマクロで抽象化された質問まであり、また同期の皆さんは常に「世界の中の日本」という視点で物事を考えていました。そういった環境で学んだことで、「世界に自慢できる日本の地域をつくっていきたい」という気持ちを強く持つことができました。

もう1つの気持ちの変化は、自分の選択と行動に「自信」を持つことができ、なりたい将来像がより明確になったことです。カリキュラム前半の伝記編ではリーダー達が、どんな時代に、何を大事にして、どのように行動したのかを学びます。ただリーダー達が成し遂げたことを知るだけではなく、幼少期に育った環境や、乗り越えてきた苦悩についても、朝比奈塾頭が詳しく読み解いてくれます。渋沢栄一が途中幕臣になったことで生きる目的を失ってしまったことや、Steve Jobsにだって大きな虚栄心があったこと。当事者意識を持ってそれぞれのリーダーに感情移入をすることで、自分の今の葛藤と照らし合わせることができ、「自分もできる」という自信に繋がりました。日本や世界を面白くするには、私と同じ若者が個性を発揮しクリエイティブであり続け対外発信をし、そしてリーダーシップを発揮していくことが必要です。その一歩を踏み出すための大局観と自信を青山社中リーダー塾でつけてください！



株式会社カヤック
藤田香澄

子どもと育児に関わる人を笑顔にしたい！

あなたは「始動」していますか？

幸い、わたしは自ら「始動」する決断をし、日本の子育てと働き方を大きく変えうる病児保育施設のマッチングサービス「あずかるこちゃん」を社会に届けるべく産婦人科医としての勤務だけではなく、事業にも力を注いでいる。そんな折、青山社中リーダー塾同窓会会長の野口さんの紹介で、リーダー塾の門を叩いた。

リーダー塾の魅力は「圧倒的な始動力」を持つ塾頭の朝比奈さんと

「素晴らしい人間性と高いモチベーション」を持つ同期の存在である。

リーダー塾での学びである「基軸を持つこと」「大局観を持つこと」などは起業家として、始動者として、大きな道標になっている。

わたしは、必ず日本の子育てや働き方を変えていくような事業を作っていく。

あなたも社中の門を叩き、共に「始動」しよう！！



CI inc. CEO / 産婦人科医

園田正樹

英国でも青山社中の学びが活きている

私は国家公務員として働いております。現在は人事院の派遣留学制度を利用し、ケンブリッジ大学で勉強しております。

「誰かに学ばずとも、一人でも成長ができる」傲岸不遜にも、そう考えていた学生時代の私が青山社中リーダー塾への入塾を決めた理由は、ひとえに朝比奈先生の優れた人柄によります。世の中をよくしたいという高い志を背景とし、政治経済について幅広い知識や豊富な人脈を持っている先生からもっと話を聞きたい、一人で考えるよりも、その方が有意義なのではないかと考え、塾の門を叩きました。塾に入って驚いたのが、政治や経済というプラクティカルな内容だけではなく、歴史や文化といった幅広い「教養」についても塾頭から学べたことです。また、塾では様々な知己を得ました。

国家公務員としての日々の業務に追われ、視点が下がりがちになる中で、政治経済や歴史について考える時間を持ち、物事に対する目線を高く保つことができたのは、朝比奈先生のおかげだと思っています。この経験が今のケンブリッジ大学への留学にも少なからず繋がっていると思います。

ケンブリッジという歴史と伝統のある環境で勉強をする中で、やはり成長のためには個人の努力が根底にあるものの、師や仲間といった環境も同様に重要であると考えを深めています。リーダー塾という環境の中で、朝比奈先生との対話を通じてあなたが何かを得ることができることを期待しております。



国家公務員

(University of Cambridge Master of Finance)

高木康一

「指導力」ではなく「始動力」を学び、中国へ

リーダー塾の座学編で一番印象に残っていること、それは、カエサル、孫文、ジョブス、渋沢栄一、古今東西の「偉人」と言われるリーダーが、いかなる体験に基づき何を志し、人生の節目でどのような決断をしたのか、これを塾頭と追体験したことである。私自身、2018年中国北京での出向・駐在を経て派遣元の山梨県庁を退職し、世界、日本の状況と自分の立ち位置を見定め、深センの現地でのコンサルティング会社の就職を選択した。

現在の我が国は、内には急激な人口減少、外には激変する国際情勢と非常に困難な状況になる。公務員から会社員の転職、そして通算3年近くの中国での業務を経験して、この時代に生きる我々の世代に求められことは、形式的なポジションの獲得ではなく、現実を見極め自らの内なる声に従い選択、行動する「始動力」であることを確信している。また、志ある仲間に出会い、年齢、性別、職業、時には思想、国籍を超え、深層から現実の問題に向き合い議論し、切磋琢磨する、リーダー塾はこれを可能にする希少な場でもある。

ぜひ、志ある方々がこの青山社中リーダー塾の門を叩き、そして共に議論、切磋琢磨できれば幸いである。断、行動ができる「始動者」が一人でも多く誕生することだと確信をしている。



中国深センコンサルティング会社勤務

高山直仁

理想の政治家を目指して

実践編に入っただけで、塾頭に背中を押され「政策担当秘書」という肩書で憧れだった“永田町”に身を置くことになった。政界では、政策決定にしる、権力闘争にしる、選挙にしる、あらゆる場面でリーダーシップが必要だ。座学編で学んだリーダーの心構えや取るべき行動というフィルターを通して“魑魅魍魎”と言われる人たちを見ると、本当のリーダー足りうる人物は必ずしも多くないとも思えてくる。また座学編で学ぶ知識や世界観についても、多くの政治家がそれを持ち合わせているのかは疑わしい。講義で紹介される文献は、名著など学生の時分に呼んでおいた方がよいものが大半だが、私を含め、多くの現代人は大学時代に図書館の書物を読み漁ってはいないのではなかろうか。

これからの人生 100 年時代で先頭に立とうと考えているあなた、新たなステージで活躍するためのリカレント教育の場として、青山社中リーダー塾をぜひ選んでみてほしい。今後の進路で役立つ視点や人脈が必ずあるはずだ。



参議院議員政策担当秘書
森本義久

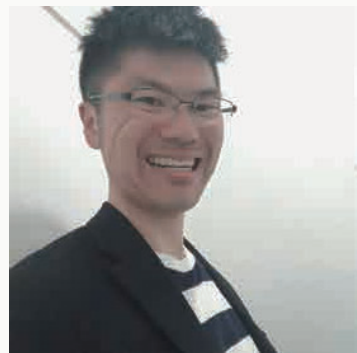
コンサル・フランス MBA を経てケニアで医療スタートアップ創業

外資系コンサルとフランスでの MBA を経て、アフリカのケニアで臨床検査・医療物流のスタートアップを経営しています。私は世の中の物事の裏側にある仕組みを理解して、その仕組みを変えていこうとする過程に心躍る性格です。文明の盛衰と歴史的な視座からの講義、世の中の変革を目指した人々の伝記など、社中の講義・議論で扱う内容はそんな私がまさに毎回楽しみになる内容でした。

受講当時、東大法学部・公共政策大学院と進学してきた私は、典型的とも言える官庁への道を選ぶか、兼ねてから興味があった新興国でのビジネスを念頭においた道を選ぶか大きく迷っていました。そんな中で社中の講義や挑戦する同窓生の方々からは他人が見て良いと思われる生き方を選ぶのではなく、自分が解きたい課題に向き合う生き方の尊さを教えて頂き、自分の進路を決める上で大きな指針になりました。

講義編を終えた後で、実践編の一環として塾生同士でルワンダに渡航し、事業の立上げを試みたことも非常に良い思い出です。結果として事業は結実しなかったのですが、私にとってアフリカで事業を本気で立ち上げることを志向する大きなきっかけになりました。

急成長するアフリカの人口の中で、圧倒的に足りない医療を仕組みとして行き渡らせることは、非常に大きく挑戦しがいのある課題です。これからもリーダー塾での学びを胸に、健康な社会の礎となる事業を作っていくつもりです。



株式会社 Connect Afya 代表取締役
嶋田庸一

漠然とした不安に対してアクションを起こすきっかけを

青山社中リーダー塾とは「日本の現状に対して漠然と持っている不安をそのままにせず、卑屈にならず、どのように立ち向かっていくか考えられるような学びの場」でしょうか。例えば「日本は豊かではなくなっていく」という不安。歴史編では、かつての大国がどのように戦略物資を握り繁栄したかを学び、現代だと何が戦略物資に当たるのかを考えます。思想編では、そもそも富とは何なのか、経済思想家がどのように捉えていたのか、自分はどのように豊かになりたいのかを考えます。また実際に社会を変えるアクションを起こしている人が集まっていることも魅力です。

目の前のことに忙しく考える時間を失い、漠然と不安に思っていることに対して何かしているつもりで何もしていない自分を変えるには最適の場だと確信しています。



農林水産省 (経済産業省出向中)
井戸萌愛

塾内で立ち上がった活動

政策研究会

「ポスト 2020」以降を見据えた日本の国家像と政策についての研究活動を行っています。AI、IoT、生命バイオなどの各方面での技術革新、グローバル経済拡大への反動等からくるアイデンティティの喪失とナショナリズムへの回帰をはじめ、我々を取り巻く国際社会は新棚局面を迎えつつあります。国内の身近なテーマに目を向けても、人口減少や社会保障制度の不安定化、地域の衰退など、これまで誰も経験したことのない時代が確実に私達の周りを取り囲んでいます。このような状況にあつて、社会の制度はこのままで良いのでしょうか。これからも一人ひとりが幸せに、そして希望を持って暮らしていくために、私達はこの国をどうデザインしていけば良いのでしょうか。これから生きていく 20 代、30 代がよいよ真剣に考えていくべき時機に来ていると思います。

具体的には、歴史や哲学、思想など様々な分野の文献を通じて将来の日本の国家像を捉えようとするタテの議論と、近い将来直面するであろう諸問題を網羅的に把握し政策案をカバーしていくヨコの議論の二つの軸で研究を行っています。

メンバーは国家公務員国会議員政策秘書、民間企業社員など、業界横断的です。私自身、普段は国家公務員として霞が関で働いていますが、日々の業務の中でこのように物事を俯瞰してみる場面はあまりないため、とても貴重な時間となっています。近い将来、政策集をまとめ、世に問うことを目指しています。



国家公務員

渡部唯一 (6期生)

塾生有志によるイベント

- リーダー塾起業会
- 忘年会
- 次世代リーダーフェス (お台場で開催)
- 合宿 (年 2 回程度)



5周年記念パーティの様子



合宿の様子

青山社中リーダー塾同窓会

青山社中リーダー塾では、5年間のプログラムを修了した塾生は同窓会の会員となります (年会費無料)。2017年に発足したばかりで、現在は1~4期の卒塾生を中心に、塾内各期を横断したイベントなどを随時開催しています。卒塾後も塾頭始め、塾生同士の繋がりは絶えることなく継続していきます。今後、OB・OGが増えていきますが、青山社中ネットワークの中心として輪を盛り上げ、各々のさらなる実践を促す場づくりをしていきます。



塾内で立ち上がった活動

青山社中と共に学んだ人たちの会

青山社中と共に学んだ人たちの会は、青山社中及び、塾頭の朝比奈の講座で学んだ受講生で形成されるグループです。

青山社中は「国や社会を想い行動する人材のプラットフォーム」たるべく、定期的に志を再確認し、同志と再会し、繋がりを強める場を提供しています。

【主なグループ】

- ・青山社中リーダー塾
- ・青山社中エクステンションスクール
- ・青山社中リーダーシップ・公共政策学校
- ・東松龍盛塾（グロービス、龍馬プロジェクトと共催の地方議員向け講座）
- ・四国リーダー塾
- ・トライセクター・リーダーシップ講座
- ・中央大学公共政策大学院 など



一般社団法人「日本と世界をつなぐ会」



ホーチミン ホテル ニッコーサイゴンでの商談会



成都 イトヨーカドーでの展示会

塾生同士の議論から生まれた法人で、日本の魅力（優れた商品・サービスなど）を世界に発信し、新たな価値を創出することをミッションに掲げています。

アウトバウンド事業では、日本が誇るユニークな伝統工芸品等の商品の海外展開を目指しています。これまでにベトナム、中国、ロシア等での市場調査、視察ミッションの派遣、ビジネスマッチング商談会、展示会の企画・運営などを行い、地方の自治体やメーカーを、海外の商社や小売店と繋ぎ、海外市場への進出を支援してきました。また当法人を仲介した海外への商品の売買なども行っています。

インバウンド事業では、国内の魅力ある地域への海外からの人の来訪や投資の促進を目指しています。地域のアイデンティティを活用した商品・サービスの開発・PR、DMO 設立に関する支援等を行っています。



一般社団法人
「日本と世界をつなぐ会」事務局長

水野貴充 (7期生)



塾生有志が中心となって結成した地域活性化を
実践するNPO法人。各地域の実情に即した機
動的かつ有効な活性化策を自治体や地域住民と
共に練り上げ、共に実践しています。成功事例は、
同様の問題を抱える他地域に展開し、一成功を
「点」から「面」へ広域化させることで、国力の
増進を図ることを目指します。



那須における地元住民とのワークショップの様子

【活動実績】

■ 新潟県三条市

廃校を活用した職業訓練施設的设计・運営

■ 神奈川県川崎市

経済団体による中小企業活性化条例策定の支援

■ 群馬県沼田市

起業家を養成する「ぬまた起業塾」的设计・運営

■ 栃木県那須塩原市

行政区分・業種を超えた住民チーム(チーム那須)による政策提言

■ 兵庫県川西市

住民参加型の総合計画策定支援



NPO法人
「地域から国を変える会」事務局長／理事
青山社中株式会社 地域活性化担当

大山詠司 (1期生)

青山社中について

「世界に誇れ、世界で戦える日本」のための
人材・政策・組織を創る新しい会社(株式会社)です。

3つのコンセプト

1 より良い世の中のため

日本の活性化が目標。
「世界に誇れ、世界で戦える日本」を構築するために活動。

2 自立した社会のため

脱政治依存・脱役所依存(政治や行政のせいにするのを止める)、
日本人・日本の組織の「自立」「自律」を目指して活動。

3 志を実現に近づけるため

戦争(命を投げ出す事業)から商売(営利事業)まで行った
亀山社中にならい、理念の実現のため営利・非営利を問わず活動。

事業概要

教育・
リーダー育成

青山社中リーダー塾 / 公共政策学校
リーダー研修プログラム開発・実施

地域活性化支援

起業塾運営
地域開発・商店街活性化プランニング・実行

政策支援・
シンクタンク

国会・地方議会向け選挙公約作成 / 議会活動支援
民間企業・団体向け公共政策アドバイザー

海外展開支援

地域製品の海外展開
自治体外交

混迷の時代を切り開く
真のリーダーを育成
現代版「松下村塾」



〒107-0062

東京都港区南青山 2-19-3
サザンキャッスルビル 2F

東京メトロ銀座線
外苑前駅4A出口から徒歩3分

Tel & Fax 03-5474-8995
E-mail office@aoyamashachu.com
ホームページ http://aoyamashachu.com

 青山社中
AOYAMA SHACHU